

年 組 名前:

織物とアート融合

富士吉田 国内外11組が作品展示

フジテキスタイルウィーク開幕



富士山に見える屋上に展示されたアート作品

富士吉田市の伝統産業の織物とアートを融合した芸術祭「フジテキスタイルウィーク」が23日、下吉田地区を舞台に開幕した。国内外11組のアーティストが、工場跡地や空き家で作品を展示。12月17日までの期間中、トークイベントもある。

〈仲沢篤志〉

織物機械部品の廃材だった香港を拠点に活動する彫刻家「山叶」の工場跡地屋上には、ジャファ・ラムさんが作品を



地元の児童が作ったクリスマスツリーいずれも富士吉田市下吉田2丁目

千葉真を拠点にする池田杏莉さんは「山叶」で使われていた家具や作業着や市民の皮膚をシリコンでかたどって作った作品を展覧。米岡・シカゴを拠点とするネリー・アガシさんは10年以上ある巨大な布作品を手がけ、展示している。幻の絹織物とされる「甲斐

展示。市内の織物業者から出た傷などで一般には流通しない「B反」を使用している。展示場所から富士山を臨むことができ、富士山にたなびく雲をイメージしているという。

午前10時～午後4時（各会場への入場は午後3時半まで。月曜休み。料金は1200円。

(2023年11月24日付 山梨日日新聞 17面)

問1

「フジテキスタイルウィーク」は、何と何を融合した芸術祭ですか。

.....

問2

次の3人は、どこを拠点に活動していますか。

ジャファ・ラムさん : 池田杏莉さん : ネリー・アガシさん :

問3

彫刻家ジャファ・ラムさんが作品で使用している「B反」とは、どのようなものですか。

.....

問4

イベント期間中には、どのような企画展が行われますか。

.....